

シリーズひと



おおくぼ たいせい
大久保 泰成さん (神奈川県在住・燕市出身)

●第56回全日本学生カヌースプリント選手権大会
K-2-200m (カヤックペア) 優勝
【専修大学4年生・前体育会カヌー部主将】



▲緑のユニホーム、カヌー前方に座るのが大久保さん。優勝を決めたゴールの瞬間です。200mを34秒469の好タイムで疾走しました。

挫折を跳ね退け悲願の大学日本一

9月に開催された「第56回全日本学生カヌースプリント選手権大会」にて、2人ペアで200mのタイムを競う種目「K-2-200m」において見事優勝を果たした大久保さん。日本一に輝いたレース中の駆け引きやカヌーの魅力をお聞きました。

「レース当日はとても緊張しましたが、いつもの力を出すことができれば必ず優勝できると思っていました」
分水高校入学時、新しいことを始めたのと飛び込んだカヌー競技の世界。大学4年生となり、学生最後の大会に挑みました。
「序盤リードされましたが、焦らず後半勝負と粘りました。『K-2』という種目では、カヌー前方に座る私がペースをコントロールします。速さを競うスプリント種目は疲労との勝負。終盤は腕が動かなくなるので、ペース配分がとても重要です。『ここだ』と勝負所でピッチをあげ、逆転でゴールすることができました」
晴れて日本一となった大久保さん。しかし、そこに至るまでは挫折の連続だったと言います。

「大事な大会で転覆したことや、先輩の最後のレースでミスをしたこともありました。競技用のカヌーに乗れるようになったのも、周りの誰よりも遅かったんです」
それでも厳しい練習を続けることができたのは、他にはないカヌーならではの魅力があるからだと言います。
「陸上でも水中でもない、『水上』を自分の力だけで自由に進む感覚。これは普段味わえないものです。何より、カヌーの上から見る景色は格別です」
そんなカヌーの魅力をより多くの人に知ってもらいたいと話します。
「正直、カヌーはまだマイナーなスポーツです。しかし、選手の躍動感やスピード感には圧倒されるものがあります。今後は、多くの人にカヌーに興味を持ってもらい、もっと気軽にカヌーに乗ることができるようになってほしいですね」

紙上ブログ

燕市長 鈴木 力



なんと！11月2日より毎週月曜日の12時30分からFM新潟の番組にレギュラー出演することになりました。県内の市町村長としては初めてです。
番組名は「燕プライド」長善アカデミー。長善館の精神を受け継ぎ、私が塾長になって「燕の魅力」を語るという内容です。
なぜFM新潟さんが私に白羽の矢を立てたのかよく分かりませんが、燕市のことを市民だけでなく広く県内に知っていただく機会になると思い、引き受けることにしました。
毎週となると準備が大変ですが、数回で打ち切りとならないよう頑張ります。

▲こちらは有料広告です。

NCT **インターネット** 光300Mbps

ケーブルテレビ アンテナ不要

固定電話 基本料がおトクに！

3つまとめて この価格!!

6,000円*

Wi-Fi 機器レンタル料 無料 キャンペーン

工事費 無料 キャンペーン

※月額・税別の価格です。NHK受信料は含まれておりません。

NCT エヌ・シー・ティ 0120-080-009

〒940-0032 長岡市千場1丁目7-9 www.nct9.co.jp

【電話受付】9:00-18:00 (ドコモ光タイプCに関しては19:00まで) **NCT**

※この広報紙は、環境にやさしいベジタブル・オイル・インクを使用しています。